

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ショーワ  
 コード番号 7274 URL <http://www.showa1.com>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 飯山 和人

問合せ先責任者 (役職名) 経理部経理課長 (氏名) 安田 祐二

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

TEL 048-554-1151

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	150,213	△30.8	△3,180	—	△2,442	—	△5,376	—
21年3月期第3四半期	216,928	—	4,447	—	3,028	—	△6,342	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△70.77	—
21年3月期第3四半期	△83.49	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	166,050	85,869	43.7	954.48
21年3月期	162,562	87,228	46.0	984.38

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 72,509百万円 21年3月期 74,781百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	14.00	—	7.00	21.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成22年3月期の期末及び合計の配当予想につきましては、未定です。

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	205,000	△24.5	△3,600	—	△2,500	—	△7,100	—	△93.46

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	76,020,019株	21年3月期	76,020,019株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	52,230株	21年3月期	51,853株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	75,967,938株	21年3月期第3四半期	75,968,819株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向、対ドル、対ユーロをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。業績予想の前提となる仮定については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
2. 平成22年3月期期末及び合計の配当予想につきましては、未定です。今後の事業環境及び業績等を見据え、総合的に勘案のうえ、決定次第速やかに開示する予定です。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

平成22年3月期第3四半期(平成21年4月1日から平成21年12月31日までの9ヶ月間)における業績は、売上高につきましては、一部の地域では、四輪車用部品の販売が増加したものの、全体としては、自動車需要の減少による減産や為替換算の影響等により、1,502億1千3百万円と前年同期に比べ、30.8%の減収となりました。

利益につきましては、業務の効率化や費用削減等の諸施策による改善効果があったものの、主に減産の影響により、営業損失は31億8千万円(前年同期は営業利益44億4千7百万円)、経常損失は24億4千2百万円(前年同期は経常利益30億2千8百万円)、また、四半期純損失は53億7千6百万円(前年同期は四半期純損失63億4千2百万円)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりです。

#### ①自動車用部品

一部の地域における四輪車用部品の販売が増加したものの、総じて市場の冷え込みによる減産の影響を受け、四輪車用部品、二輪車用部品の販売がともに減少し、減収となりました。

この結果、自動車用部品事業の売上高は、1,420億5千5百万円(前年同期比33.4%減)となり、営業損失は、36億6百万円(前年同期は営業利益39億9百万円)となりました。

#### ②その他

その他の事業の売上高は、81億5千8百万円(前年同期比129.1%増)となりましたが、営業利益は、4億2千6百万円(前年同期比20.8%減)となりました。

所在地別セグメントの業績は、次のとおりです。

#### (日本)

日本においては、四輪車用部品は、エコカー減税・買換え支援策等による一部車種の増産効果はあったものの、市場の冷え込みによる影響を受け、総じて減産となり、四輪車用部品、二輪車用部品の販売がともに減少し、減収となりました。

この結果、売上高は、820億6千6百万円(前年同期比27.0%減)となり、営業損失は、37億9千3百万円(前年同期は営業損失8億5千1百万円)となりました。

#### (北米)

北米市場の冷え込みによる減産の影響を受け、米国では、四輪車用部品、二輪車用ショックアブソーバの販売、また、カナダでは、四輪車用部品の販売がともに減少し、減収となりました。

この結果、売上高は、323億5千6百万円(前年同期比41.0%減)となり、営業損失は、19億8千6百万円(前年同期は営業損失22億7千5百万円)となりました。

#### (欧州)

欧州市場の冷え込みによる減産の影響を受け、スペインでは、二輪車用ショックアブソーバの販売、また、イギリスでは、四輪車用部品の販売がともに減少し、減収となりました。

この結果、売上高は、58億2千9百万円(前年同期比64.5%減)となり、営業損失は、7億3千3百万円(前年同期は営業利益5億3千万円)となりました。

(東南アジア)

インドネシア、タイでは、市場の回復の兆しはあるものの、減産の影響を受け、二輪車用ショックアブソーバ、四輪車用部品の販売がともに減少し、減収となりました。

この結果、売上高は、186 億 3 千万円（前年同期比 33.4%減）となり、営業利益は、26 億 4 千 5 百万円（前年同期比 36.2%減）となりました。

(南米)

ブラジルでは、市場の冷え込みによる減産の影響を受け、二輪車用ショックアブソーバの販売が減少し、減収となりました。

この結果、売上高は、124 億 6 千万円（前年同期比 46.6%減）となり、営業損失は、6 億 6 千 7 百万円（前年同期は営業利益 19 億 4 千 1 百万円）となりました。

(その他の地域)

中国では、市場が好調に推移し、四輪車用部品の販売が増加し、増収となりました。インドでは、パワーステアリングの販売の増加により、増収となりました。

この結果、売上高は、204 億 8 千 6 百万円（前年同期比 15.7%増）となり、営業利益は、13 億 1 千 9 百万円（前年同期比 150.0%増）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債、純資産等の状況

平成 22 年 3 月期第 3 四半期末の総資産は、1,660 億 5 千万円となり、前期末に比べ 34 億 8 千 8 百万円増加しました。

流動資産は、原材料及び貯蔵品が減少したものの、売掛金の増加や為替換算の影響などにより、前期末に比べ 26 億 5 千 7 百万円増加しました。

固定資産は、主に投資有価証券の増加や為替換算の影響により、前期末に比べ 8 億 3 千万円の増加となりました。

負債は、未払金及び未払費用が減少したものの、支払手形及び買掛金、長期借入金の増加や為替換算の影響などにより、前期末に比べ 48 億 4 千 6 百万円増加しました。

純資産は、主に為替換算調整勘定が増加したものの、利益剰余金が減少したことにより、前期末に比べ 13 億 5 千 8 百万円減少しました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、有形固定資産の取得による支出及び売上債権の増加はあったものの、長期借入れによる収入、仕入債務の増加、たな卸資産の減少及び減価償却費などにより、前期末に比べ、15 億 6 千 9 百万円増加し、67 億 7 千 5 百万円となりました。

当第 3 四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、81 億 6 千 6 百万円であり、前年同期に比べ、72 億 7 千 9 百万円増加しました。これは主に売上債権が増加となったものの、たな卸資産の減少及び仕入債務が増加したことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、100 億 6 千 7 百万円であり、前年同期に比べ、130 億 7 千 5 百万円減少しました。これは主に有形固定資産の取得による支出が減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、34億3百万円であり、前年同期に比べ、77億2千万円減少しました。これは主に長期借入れによる収入の減少及び短期借入金の純増減額が減少したことによるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の業績予想は、為替変動及び景気の下振れ懸念があるものの、引き続き日本におけるエコカー減税・買換え支援策等による四輪車用部品の増産効果や、中国及び東南アジアにおける売上の増加及び、業務の効率化や費用削減等の諸施策による改善効果がより一層見込めることから、平成21年10月30日の決算発表時点の予想を変更しています。しかしながら、当社グループの事業展開としましては、依然厳しい環境下におかれているとの認識のもと、更なる業務の効率化及び徹底した費用削減等の諸施策を推進するとともに、最適な生産体制の構築のため、内外作の見直し、生産ラインの移管、フレキシブル化対応等を具体的に進めてまいります。

為替レートは、通期平均で、1米ドル=94円、1ユーロ=130円を前提としています。

売上高	2,050億円	前期比	24.5%減
営業損失	36億円	前期比	—
経常損失	25億円	前期比	—
当期純損失	71億円	前期比	—

また、本日、別途開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」につきましてもご参照ください。

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
  - ① 棚卸資産の評価方法  
一部の連結子会社では、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算定しています。
  - ② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法  
当社は法人税等の算定に当たり、加減算項目や税額控除項目は重要なものに限定しています。  
繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しています。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更  
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,285	14,705
受取手形及び売掛金	34,127	27,404
商品及び製品	3,827	3,986
仕掛品	4,264	4,545
原材料及び貯蔵品	16,022	18,272
その他	4,895	7,872
貸倒引当金	△122	△144
流動資産合計	79,300	76,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,699	14,233
機械装置及び運搬具(純額)	39,279	38,478
その他(純額)	14,482	21,308
有形固定資産合計	72,461	74,020
無形固定資産		
	803	904
投資その他の資産		
投資有価証券	10,622	8,336
その他	2,875	2,671
貸倒引当金	△13	△12
投資その他の資産合計	13,485	10,995
固定資産合計	86,750	85,919
資産合計	166,050	162,562
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,934	21,184
短期借入金	19,294	18,960
未払金及び未払費用	8,050	10,679
製品保証引当金	1,236	1,343
賞与引当金	1,038	2,389
役員賞与引当金	35	65
その他	2,996	2,870
流動負債合計	58,586	57,492
固定負債		
長期借入金	12,485	10,376
製品保証引当金	897	832
退職給付引当金	4,299	3,634
役員退職慰労引当金	383	391
その他	3,527	2,606
固定負債合計	21,594	17,841
負債合計	80,180	75,334

## (株)ショーワ(7274)平成22年3月期 第3四半期決算短信

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,698	12,698
資本剰余金	13,455	13,455
利益剰余金	53,000	58,908
自己株式	△52	△52
株主資本合計	79,102	85,010
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,282	2,978
繰延ヘッジ損益	△1	△43
為替換算調整勘定	△10,873	△13,163
評価・換算差額等合計	△6,592	△10,229
少数株主持分	13,360	12,446
純資産合計	85,869	87,228
負債純資産合計	166,050	162,562

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	216,928	150,213
売上原価	192,266	137,247
売上総利益	24,661	12,966
販売費及び一般管理費	20,214	16,146
営業利益又は営業損失(△)	4,447	△3,180
営業外収益		
受取利息	542	300
受取配当金	202	67
持分法による投資利益	195	165
為替差益	—	423
雇用調整助成金	—	165
その他	167	317
営業外収益合計	1,108	1,441
営業外費用		
支払利息	374	658
為替差損	2,015	—
その他	137	44
営業外費用合計	2,527	703
経常利益又は経常損失(△)	3,028	△2,442
特別利益		
固定資産売却益	16	7
特別利益合計	16	7
特別損失		
たな卸資産評価損	64	—
固定資産売却損	32	5
固定資産廃棄損	159	177
減損損失	84	239
製品保証引当金繰入額	348	—
特別損失合計	690	422
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,355	△2,857
法人税等	6,502	1,699
少数株主利益	2,195	820
四半期純損失(△)	△6,342	△5,376



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,355	△2,857
減価償却費	7,558	8,241
減損損失	84	239
貸倒引当金の増減額(△は減少)	66	△23
製品保証引当金の増減額(△は減少)	295	△46
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△16	△30
退職給付引当金の増減額(△は減少)	226	647
受取利息及び受取配当金	△745	△368
支払利息	374	658
為替差損益(△は益)	△48	△192
持分法による投資損益(△は益)	△195	△165
雇用調整助成金	—	△165
有形固定資産除売却損益(△は益)	175	174
売上債権の増減額(△は増加)	487	△5,981
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,269	4,007
仕入債務の増減額(△は減少)	1,505	4,271
その他	△1,115	969
小計	2,739	9,379
利息及び配当金の受取額	821	516
利息の支払額	△368	△583
雇用調整助成金の受取額	—	165
法人税等の支払額	△2,306	△1,311
営業活動によるキャッシュ・フロー	886	8,166
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,464	△1,347
定期預金の払戻による収入	1,530	330
有形固定資産の取得による支出	△23,238	△8,985
有形固定資産の売却による収入	46	26
投資有価証券の取得による支出	△2	△86
その他	△14	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,143	△10,067
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,013	△657
長期借入れによる収入	12,069	5,734
長期借入金の返済による支出	—	△454
配当金の支払額	△2,128	△534
少数株主への配当金の支払額	△824	△667
その他	△5	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,124	3,403
現金及び現金同等物に係る換算差額	483	67
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10,649	1,569
現金及び現金同等物の期首残高	21,436	5,206
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,786	6,775

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	自動車用部品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	213,367	3,561	216,928	—	216,928
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	213,367	3,561	216,928	(—)	216,928
営業利益(又は営業損失)	3,909	538	4,447	(—)	4,447

## (注) 1. 事業区分の方法

製品の販売先の使用目的に応じて、自動車用部品・その他(ボート用部品・産業用機器・事務機器用部品・製造機械設備等)にセグメンテーションしています。

## 2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品	
自動車用部品	四輪・二輪車用ショックアブソーバ、パワーステアリング、プロペラシャフト、ガススプリング、オートマチックトランスミッション部品、デフレンシャルギヤ、その他四輪・二輪車用駆動系部品	
その他	ボート用部品	船外機用パワーチルトトリム、シリンダ、ポンプアンドモータ
	産業用機器	各種油圧シリンダ
	事務機器用部品	ガススプリング
	製造機械設備等	製造機械設備

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	自動車用部品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	142,055	8,158	150,213	—	150,213
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	142,055	8,158	150,213	(—)	150,213
営業利益(又は営業損失)	(3,606)	426	(3,180)	(—)	(3,180)

## (注) 1. 事業区分の方法

製品の販売先の使用目的に応じて、自動車用部品・その他(ボート用部品・産業用機器・事務機器用部品・製造機械設備等・自動車販売等)にセグメンテーションしています。

## 2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品	
自動車用部品	四輪・二輪車用ショックアブソーバ、パワーステアリング、プロペラシャフト、ガススプリング、オートマチックトランスミッション部品、デフレンシャルギヤ、その他四輪・二輪車用駆動系部品	
その他	ボート用部品	船外機用パワーチルトトリム、シリンダ、ポンプアンドモータ
	産業用機器	各種油圧シリンダ
	事務機器用部品	ガススプリング
	製造機械設備等	製造機械設備
	自動車販売等	自動車販売、部品販売・修理、保険代理

## 〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	東南 アジア (百万円)	南米 (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	81,495	53,507	16,337	27,104	23,321	15,161	216,928	—	216,928
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	30,959	1,297	94	885	—	2,547	35,784	(35,784)	—
計	112,455	54,804	16,431	27,990	23,321	17,708	252,712	(35,784)	216,928
営業利益(又は営業損失)	(851)	(2,275)	530	4,148	1,941	527	4,021	425	4,447

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	東南 アジア (百万円)	南米 (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	63,338	32,153	5,763	18,439	12,460	18,059	150,213	—	150,213
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	18,728	202	66	191	—	2,426	21,614	(21,614)	—
計	82,066	32,356	5,829	18,630	12,460	20,486	171,828	(21,614)	150,213
営業利益(又は営業損失)	(3,793)	(1,986)	(733)	2,645	(667)	1,319	(3,216)	36	(3,180)

(注) 1. 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

- (1) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。
- (2) 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米	アメリカ、カナダ
欧州	スペイン、イギリス
東南アジア	インドネシア、タイ
南米	ブラジル
その他の地域	中国、インド

## 〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	北 米	欧 州	東南アジア	南 米	その他の地域	計
I 海外売上高 (百万円)	54,303	15,840	27,136	23,813	18,459	139,553
II 連結売上高 (百万円)						216,928
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	25.0	7.3	12.5	11.0	8.5	64.3

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	北 米	欧 州	東南アジア	南 米	その他の地域	計
I 海外売上高 (百万円)	32,644	7,474	19,178	12,302	19,993	91,593
II 連結売上高 (百万円)						150,213
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	21.7	5.0	12.8	8.2	13.3	61.0

(注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

2. 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域
  - (1) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。
  - (2) 各区分に属する主な国又は地域

北米	アメリカ、カナダ
欧州	スペイン、イギリス
東南アジア	インドネシア、タイ
南米	ブラジル
その他の地域	中国、その他アジア

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。